

研究課題名:「小児劇症肝不全の病態解明に関する研究」(課題番号466)

臨床研究実施についてのお知らせ

国立成育医療研究センター研究所では、ヒト肝細胞を用いた小児劇症肝不全の病態の解明を行うために、以下の臨床研究を実施しております。概要を記しますのでご理解の程よろしく願いいたします。

平成23年3月29日

【研究課題名】

小児劇症肝不全の病態解明に関する研究(課題番号466)

【研究期間】

平成23年3月29 日から平成28年3月31日(5年間)

【研究の意義・目的】

小児劇症肝不全は、数日から1ヶ月ほどの間に、今まで病気のなかったお子さんの肝臓の機能が急激に低下し、生命の危険を伴う病気です。患者さんの多くは乳幼児で、原因不明です。肝移植を行っても、免疫抑制剤による治療がうまくいかない難治性拒絶がおりやすいことも特徴の一つですが、この原因についても不明です。今までの報告では、劇症肝不全は肝移植を行っても治すことが非常に難しいとされてきましたが、国立成育医療研究センターでは生存率が90%を超えており、初期より持続腹膜透析や血漿交換などの血液浄化療法を積極的に行っていることがその一因と考えられます。これらのことから、小児劇症肝不全の原因には、血液中の物質(サイトカインや特殊なタンパクなど)の関与が強く示唆されます。この研究では原因となる物質やどうしてこの病気がおこるかについて解明し、小児劇症肝不全の新しい診断法や治療法の開発を目指します。

【個人情報の保護について】

本研究では、同意が得られた患者さんから得られた検体のみが用いられています。また個人的な情報はすべて削除された後の検体を用いて研究が行われ、個人情報保護には最大限の注意を払います。

【本研究に関する問い合わせ先】

中澤温子(国立成育医療研究センター 病理診断部 部長)

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話 03-5494-7270(内線 7466) FAX 03-5727-2879

e-mail: nakagawa-a@ncchd.go.jp

笠原群生(かさハラ むれお)

独立行政法人国立成育医療研究センター 移植外科

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話 03-5494-7270(内線 7389) FAX 03-3416-2222

e-mail: kasahara-m@ncchd.go.jp

【結果の公表】

研究成果は学会や論文などで順次公表致します。